

# タイトル

品目：●●● (実証地：○○○市△△町)

## 1 背景・目的

- ・
- ・

## 2 取組内容

- ・
- ・

## 3 結 果

- ・
- ・

## 4 考 察

- ・
- ・

## 5 今後の展開、考慮すべきこと等

- ・
- ・

事業主体名：○○○○○○○

担当者名：○○

# タイトル

品目：●●● (実証地：○○○市△△町)

## 1 背景・目的

- ・高温乾燥による土壌中の水分の低下により、着花数が減少
- ・高温乾燥下で土壌中水分の下がり過ぎを防ぐ

## 2 取組内容

- ・① 生分解性マルチの使用、② 畝の高さを低めにする、③ ①②両方
- ・①～③の試験区と慣行区について、収穫後の収量を調査
- ・①～③の試験区と慣行区について、6～8月に毎週土壌水分を測定

## 3 結果

- ・収量は① > ② = 慣行 > ③

例

試験区	①	②	③	慣行区
収量 (kg)				

## 4 考察

- ・①、②については慣行区と比べ、常に高めの土壌水分率で推移。
- ・③で収量が少なかったのは、6月下旬の大雨後、土壌水分が高く推移し、根の傷み等が発生したものと考えられる。

土壌水分の推移グラフ

## 5 今後の展開、考慮すべきこと等

- ・対象ほ場の水はけを考慮した上で、どの技術を導入するかを選択が必要
- ・マルチ導入は、資材費や作業コストも勘案した上での経営判断が必要